



ZEOvit Reactor 共通説明書

- ZF500-36 • ZF500-46
- ZF1000-36 • ZF1300-46
- ZF2000-46 • ZF3500-46

Ver. 1.00

LSS Laboratory

INDEX

1. はじめに	1
2. 特別な注意事項	1
3. パッケージ内容と各部の名称	2
4. 組立てと設置	3
5. 使用方法とメンテナンス	5
6. 使用上の注意と保証	5
7.ReefOctopus シリーズ	6

1. はじめに

Reef Octopus シリーズはLSS Laboratoryが自信を持って販売する海水魚飼育器具のブランドです。

Reef Octopus シリーズの開発はLSSだけでなく熱狂的な愛好家や専門店の意見、世界に広がるLSSのネットワークによってすすめられ、企画製造されました。

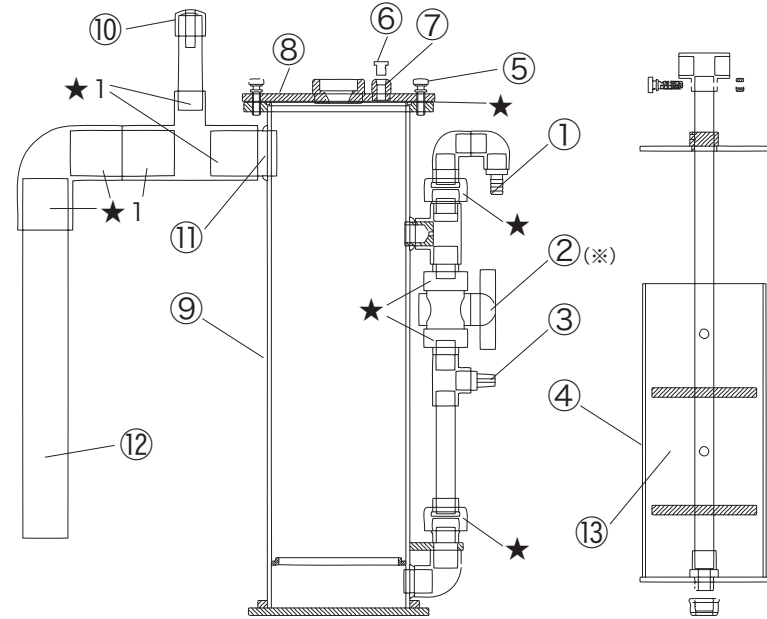
長期にわたりお客様にご使用いただくため、アクリルの材質や接着にもこだわり製作されています。水漏れなどのトラブルを避けるために水漏れテストやクラックなどの確認検査等も実施しています。

2. 特別な注意事項

本製品の使用にあたり特に大事な注意事項があります。必ず注意事項を守ってご使用ください。

- 本製品を動かすためには別売のポンプを使用します。別途ご用意ください。
- 過度の圧力がかかると水漏れを起こす場合があります。本製品に圧力がかからないように配管及びメディアの選択、メンテナンスをしてください。
- 説明書を読んでも不明な点がある場合はユーザーサポート又は販売店に気軽に相談してください。

3. パッケージ内容と各部の名称



- ①ホース接続口 12/16mm
- ②流量調整バルブ(※)
- ③エアーチューブ接続口
- ④ZEOライトケース
- ⑤固定用スクリュー
- ⑥添加口キャップ
- ⑦添加口
- ⑧topカバー
- ⑨メインボディ
- ⑩エアーキャップ
- ⑪排水口
- ⑫排水パイプ
- ⑬ZEOライトスペース

- ★…パッキン・Oリング部分
- ★1…外部式の場合は要接着又はシールテープ
- ※ZF500 シリーズには付属しません

4. 組立てと設置

3章の図を参考に組立ててください。ユニオン継手の部分やポンプ等の部分にはパッキンが必要となります。(3章の図の★部分)

ポンプとの接続

3章図1のホース接続口に別売りのホースを使用してポンプと本体を接続してください。ホースバンドを使用してホースがぬけないように注意してください。

補助エアー洗浄(エアークューブ接続口)との接続

3章図3のエアークューブ接続口は、補助エアー洗浄をする、しないにかかわらずエアークューブを別途お買い求めいただき接続する必要があります。

下記に使用する場合としない場合の2つの方法がありますので目的によりお読みください。

エアーポンプ接続あり

エアークューブを3章図3のエアークューブ接続口の固定部品をまわして一度部品をはずしてください。すると突起部分が現れますので奥までエアークューブを挿し、先ほどはずしたカバーを取り付けしっかりとまわしてチューブを締めつけてください。次にエアーポンプとチューブを接続します。その際、エアーポンプはZEOvitリアクターよりも上に設置(エアーポンプの説明書参照)してください。また、ポンプとリアクターの間に逆流防止弁を設置してください。設置状況や使用方法によって逆流する場合があります。

■エアーポンプの目安

一般的な使用環境で使用した場合のエアーポンプのパワーの目安です。設置環境によって異なります。強すぎる場合は上部の開口部分より飼育水があふれる場合があります。

ZF500の場合……2.2L /分以上

ZF1000の場合……3.0L /分以上

ZF1300の場合……4.0L /分以上

エアーポンプ接続なし

エアークューブを3章図3のエアークューブ接続口の固定部品をまわして一度部品をはずしてください。すると突起部分が現れますので奥までエアークューブを挿し、先ほどはずしたカバーを取り付けしっかりとまわしてチューブを締めつけてください。エアークューブに止水キャップや逆流防止弁(場合によりチューブを結ぶだけでも可)を取付けて、リアクターと反対側のチューブは、万が一水が出てもいいように濾過槽や水槽内部に固定してください。

設置

本製品は内部・外部式両用です。

内部式でご使用の場合は、さきほど説明させていただきました、エアークューブとポンプの接続方法の部分に注意していただければ問題ありませんが、外部式で腰用の場合は3章の図の★1の部分にシールテープ又は接着する必要があります。不慣れなお客様は販売店や専門家にご相談ください。

本製品は、3章図11の排出口の下よりも設置している水槽や濾過槽が高い場合には使用できません。排出口より下になるように設置してください。

3章図11の排出口よりも上になってしまう場合はリアクター本体を持ち上げて使用してください。

3章図11より先のパーツは、設置に必要ないときは使用する必要はありません。

水位が高く、送水ポンプの流量が多く、3章図12の排水パイプが長い場合は、水が上部から溢れる場合があります。その場合はパイプを短くするなど調整してください。

注意

万が一の水もれを考えて設置場所を決定してください。重大な被害につながるおそれがあります。

5.使用方法とメンテナンス

使用方法はZEOvitマニュアルに従い、適正な流量とメディアの量を使用してください。エアの混入タイミングやタイマーの設定、自動化などもZEOvitマニュアルや、販売店に相談し決定してください。

メンテナンス **重要**

- ・定期的にごみなどの目詰まりをチェックしてください。メディアが目詰まりを起こすとリアクター内に圧力がかかりパッキン・ポンプ等から水漏れを引き起こす可能性があります。
- ・パッキン部分などは定期的に新しいものに交換してください。

6.使用上の注意と保証

説明書にある特別な注意事項を必ず守って使用してください。特にポンプ（電気）による事故を避けるためにポンプの箱に同封されている説明書をお読みください。アクリル製品は熱や光に弱いため水槽用のクーラー熱や直射日光による本体のクラック症状などが起こらないように設置してください。万一の水漏れによる被害を防ぐ為に商品の下にトレー状の器を設置する事で水漏れの初期症状時の被害を防止できます。

本製品には1年間メーカー保証がありますが下記は保証の対象外です。

- ・パッキンなどの消耗部分
- ・使用経過による商品の破損
- ・メディアの目詰まりによる水漏れ等の保証
- ・本製品の故障による生体の死亡及びその他の被害
- ・本製品の故障、破損による本製品以外の保証（水漏れ含む）
- ・保証書がない場合
- ・保証書に購入日/購入ショップの印等がない場合（ショップ印は手書き不可）
- ・人から譲り受けた場合

※商品の点検・クレーム時の貸出機は現在ご用意がございません。ご了承ください。

本製品の不具合や、より便利な使用方法など製品に関する更新情報をホームページにて公開しております。定期的にご確認ください。

www.e-lss.jp

7.Reef Octopus シリーズ

プロテインスキマー

バブルストッパー PRO

ナイトレトリアクター



マルチフィルターS

マルチフィルターハングオン

マルチフィルター PRO

リーフスコوب



イージーサンブ

バブルカウンター



LSS Laboratory

ユーザーサポート

042-788-2390